

## 第 5 1 回 明 石 市 環 境 審 議 会

平成 2 4 年 1 1 月 1 3 日 (火) 午後 3 時 0 0 分～

場所：明石市生涯学習センター学習室 1

○会長 皆様、こんにちは。それでは定刻となりましたので、第 5 1 回明石市環境審議会を開催いたします。

本日は、お忙しい中御出席いただきまして、誠にありがとうございます。  
まず本日の審議会の成立について、事務局より報告をお願いします。

○事務局 A 事務局の環境総務課長の A でございます。

### 《 環 境 審 議 会 成 立 の 確 認 》

○会長 ありがとうございます。次に、8 月 1 日付で審議会の委員に変更がありましたので、事務局より報告をお願いします。

○事務局 A それでは、お手元の明石市環境審議会員名簿をご覧ください。

### 《 審 議 会 委 員 の 変 更 に つ い て 》

○委員 C 失礼いたします。関西電力明石営業所の C と申します。6 月末からこちらのほうで仕事することになりました。平素は節電など、いろいろ御迷惑、御心配をおかけしておりますけど、今後とも御理解、御協力賜りますよう、よろしくお願ひしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○事務局 A どうもありがとうございました。それでは、名簿順に前回御欠席されておりました委員 D、お願いします。

○委員 D 初めまして、D と申します。明石の商工会議所女性部の会長をさせていただいております。前回、たまたま私どもの会議と重なっておりまして欠席さ

せていただきました。今回が初めてです。女性部として、この中に書いてありますマイ箸とかいうようなことは、私どもも現在実践させていただいております。それと私の会社というか仕事上、この中に書いてある分では、明石の歴史のものを保存するというようなことにも、関心を持たせていただいております。今日はこれから勉強させていただきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

○事務局 A      ありがとうございました。委員 F お願いします。

○委員 F          前回欠席しまして、今回が初めての参加となります。三木市のほうにあります兵庫県北播磨県民局加古川流域土地改良事務所の F でございます。仕事のほうは、田んぼや水路、ため池の改修などの整備をやっております。いなみ野ため池ミュージアムという、地域住民の皆さんが集まって、次世代にため池を中心とした自然環境を守っていこうというような取り組みをやっておりますので、その関係で参加させていただいております。よろしくお願いいたします。

○事務局 A      ありがとうございました。それでは最後に委員 H、お願いします。

○委員 H          こんにちは、気候ネットワークの H と申します。気候ネットワークは N P O 法人で地球温暖化防止に取り組んでおります。国際交渉から国内政策の提言、それから地域での活動、また環境教育という形で幅広く取り組みを進めている N P O です。私自身普段は京都のほうにおりまして、再生可能エネルギーや環境政策などを専門にさせていただいておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 A      ありがとうございます。それでは会長、よろしくお願いいたします。

○会長            どうぞよろしくお願いいたします。  
それでは、第 5 1 回明石市環境審議会次第をご覧くださいませでしょうか。

1、議事が明石市環境レポート2012（案）について、となっておりまして、2が第12回自然環境部会の報告について、3、その他となっております。

それでは次第に基づきまして、1の議事、明石市環境レポート2012（案）について、事務局より説明をお願いします。

○事務局D 失礼いたします。環境総務課計画係のDと申します。私のほうからは議事1、環境レポート2012の内容について、お配りしております資料1、資料2を使用しまして、御説明させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。失礼いたします、座ってご説明させていただきます。

まず初めに、本日机の上に資料3の差しかえと、環境レポートの正誤表ということで1部資料を配付しております。こちらのほうも御参照いただけましたらと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日御出席いただいております審議会委員の皆様の中には、今回初めて環境レポートに関して御審議いただく委員の方も多くおられます。まず、初めに環境レポートとはどのようなものなのかということをお説明させていただきます。

それでは資料1をご覧ください。中ほどの枠内に明石市の環境の保全及び創造に関する基本条例第18条を抜粋しております。括弧書きで年次報告書と記載しておりますが、これが環境レポートに当たります。環境レポートは、この条例に基づき作成、公表しております。本条例にありますように、環境基本計画の適正な進行管理を図るため、毎年環境の状況や、講じた施策等について報告書を作成し市民へ公表することとなっております。また、第2項に年次報告書の作成に当たっては審議会の意見を聞くこととなっております。本日の審議会がこれに当たります。公表までのスケジュールにつきましては、資料1にも記載しておりますが、後ほど次第3のその他で詳しく御説明させていただきます。

なお、今回作成の環境レポート素案につきましては、昨年度から大きく4点ほど変更させていただいております。変更点の説明につきましては、内容の説明と合わせて行ってまいりたいと考えていますので、よろしくお願

たします。

それでは、資料2に沿って御説明させていただきます。まず1ページ目の目次をお開きください。本市では昨年度、第2次明石市環境基本計画を策定し、その計画の基本方針として低炭素社会の実現、自然共生社会の実現、循環型社会の実現、安全・安心社会への実現のほか、横断的施策を推進することを掲げております。この基本方針に基づく取り組みを市民の皆様におわかりやすく公表するために、今年度より、新たに目次の4、5、6を追加しております。そして環境基本計画に沿った内容になるようにレポート全体の構成を見直しております。

2ページをご覧ください。こちらは環境レポート以外に本市が発行しております環境に関する計画書等の資料について説明しております。新たなものとしましては、昨年度策定いたしました第2次明石市環境基本計画と、一般廃棄物処理に関する計画書としまして「みんなで作る循環型のまち・あかしプラン」の2種類がございます。3ページの下部には第2次明石市環境基本計画の策定記念として開催いたしました、断捨離講演会を紹介しております。

続きまして、4ページをご覧ください。ここでは低炭素社会の実現に向け、「ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン」に基づき行いました取り組みについて、記載しております。中ほどの表には市内の温室効果ガス排出量の現状を記載しております。現在入手できる最新のデータである平成21年度の値を、基準年度となる平成2年度と比較しますと18.2%の減少となっております。

5ページには、市が実施した施策、取り組みとして太陽光発電設備の設置補助金、またグリーンカーテンの普及啓発等について記載しております。グリーンカーテン普及のために行いました資材の配布では、予定数を大幅に上回る市民の方に御来場いただくという結果になり、温暖化対策や緑化に対しての市民の関心の高さが伺えたものとなりました。

続きまして、6ページをご覧ください。ここでは自然共生社会の実現に向け「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」に基づき行いました取り組みについて記載しております。明石を代表する自然といたし

ましては、ため池や海、河川などの水辺が多くございます。それらの水辺での取り組みのほか、市が実施します自然環境調査についても触れております。6ページに記載のため池環境保全では、ミシシippアカミミガメについて少し触れております。これは昨年度から新たに実施している外来種調査に関するものです。これらの調査に関しますことは後ほど自然環境部会のほうで改めて御説明いたします。

それでは8ページをご覧ください。ここからは本年度追加いたしました新たな項目になっております。8から10ページに循環型社会の実現に向け「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン」に基づき行いました取り組みについて記載しております。8ページ中ほどの表をご覧くださいますと、平成23年度の市全体のごみ処理量は、基準年度であります平成22年度と比較して減少していますが、家庭系の燃せるごみについては一人当たりの排出量が若干増えております。また、可燃ごみの性状を把握するため行った分析の結果では、家庭系、事業系とも、資源化できる紙、布類が3割程度含まれており、さらに分別の徹底を図っていく必要があります。「みんなでつくる循環型のまち・あかしプラン」では、よく言われます3R、改めて申し上げますと、リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）を推進していくこととしておりますが、中でもごみの発生抑制を最優先に取り組む必要があります。そこで昨年度の取り組みとしましては、ライフスタイルの見直しとして、スーパー等の事業者や消費者団体とレジ袋削減に関する協定を締結し、本年の4月1日より市内のスーパー等でレジ袋の無料配布を取りやめております。また、生ごみ減量化への取り組みの推進としまして、段ボールコンポストの基材の配布及び段ボールコンポストに関する講習会を実施しております。

次に11ページをご覧ください。こちらも新たな項目で、安全・安心社会の実現への取り組みに関する記載となっております。市民が安心して暮らせる生活環境を提供するため、大気や水質、また騒音や有害化学物質等の常時監視測定を行うなど、環境汚染の実態把握に努めております。

続きまして12ページをご覧ください。こちらの項目までが今年度新たに追加した項目となっております。これまで御説明いたしました全ての社会の

実現につながるものとして、横断的施策に関する取り組みを記載しております。環境に対する意識改革や環境に調和したライフスタイルへの転換について、また明石のすばらしさを後世に継承するための取り組みを記載しております。

13ページをご覧ください。ここでは明石市の目指す環境像を実現するための協働の取り組みとして、「エコウイングあかし」の活動を記載しております。「エコウイングあかし」とは環境基本計画に掲げる施策をパートナーシップで実践するために平成19年に設立された組織で、市民や事業者、学校など、さまざまな立場や年代の人々で構成される団体となっております。

「エコウイングあかし」の活動については、昨年度の環境レポートから記載方法を変更しております。「エコウイングあかし」には、ライフスタイル、エネルギー、自然の3つのグループがあり、昨年度までは各グループが掲げたリーディングプロジェクトごとに取り組み内容を記載しておりましたが、昨年度策定された第2次明石市環境基本計画では、より広域的、横断的な活動が必要とされることから、このリーディングプロジェクトの枠を取り払い活動を実践することとなりました。本レポートにおいても枠に捉われない表現に変更しております。14ページには「エコウイングあかし」の全体の活動を、15ページ、16ページには各グループの活動をそれぞれ参加または実施したイベントを中心に記載しております。「エコウイングあかし」では、多くの活動を行っており詳細までは記載できませんので、市民の方がレポートを読まれてわかりやすく伝わるよう、文字は少なく写真を多めに使用しております。また、詳しく活動について知りたい方には、ホームページを閲覧していただくよう17ページに「エコウイングあかし」ホームページについて紹介しております。

続きまして18ページをご覧ください。ここから22ページまでは明石市環境マネジメントシステムに関する記載となっております。18ページは明石市環境マネジメントシステムについての説明となっております。本市では平成12年度に環境マネジメントシステムを導入し、環境施策の推進のほか、省エネの促進やエコオフィス活動に取り組んでまいりましたが、第2次明石市環境基本計画を初め3つの環境に関する個別計画が策定されたこと、また

エコオフィス活動については定着してきたことから、今後の環境マネジメントシステムについてはこの3つの個別計画及び環境基本計画の進捗管理に重点を置くこととしております。

19ページには環境マネジメントシステムを運用するに当たり、どのように目標を設定し、取り組んだのかについて記載しております。目標の設定方法につきましては昨年度見直しを行い、従来の環境貢献・取り組み編は、環境貢献・エコ活動編と施策編に分類し、環境貢献・エコオフィス編は省エネ法により進捗管理することといたしました

20ページ、21ページにはそれぞれの結果について記載しております。20ページ記載の環境貢献・エコ活動編では、期待を上回るものと期待どおりのもので、合わせて83.8%、期待を下回るものが16.1%となっております。21ページ記載の環境貢献・施策編では、期待を上回るものと期待どおりのもので、合わせて89.1%、期待を下回るものが8%となっております。ただ、未実施の4項目につきましても、関係機関との調整や協議が必要になるとの理由で、全く何も実施していないわけではなく各課が自己評価として厳しく判断されたものと捉えております。

また、コピー用紙、ガソリン等の使用実績については20ページ下段に記載しております。数値だけで見ますと、平成22年度の実績から大幅に増加しておりますが、これは昨年度まで対象外になっていた下水処理場などの市庁部局以外の出先施設を一部含む記載にしているためです。省エネの取り組みは市全体として行っているため、来年度以降につきましてもこのような記載をしまいたいと考えております。

そのほか、21ページ中ほどには市民に展開した事例を紹介しております。中でも天文科学館では、再生可能エネルギーの利用を広く市民に啓発するため「太陽光発電進歩ジウム」を開催しております。実際に設備を導入された市民による事例発表や、明石市の実施する太陽光発電設備設置に対する補助金制度の紹介など、日常業務の枠に捉われない事業展開を実施しております。

22ページでは明石市の内部環境監査について記載しております。昨年度の監査では各課の実施した取り組みについて、「ここはできていない」とい

ったあら探しをするのではなく、「ここは優れている」といった具合に、他課に対して模範となる手本を見つけ出し、庁内に広めていくという形をとっております。中ほどの枠内では、その例を一部ですが記載しております。

続きまして、23ページをご覧ください。ここから38ページまでは表となっております。庁内各部署がどのような取り組みを行ったかをまとめております。先ほど御説明いたしました20ページ、21ページの取り組みの結果については、ここでの評価をまとめたものとなっております。

最後になりますが、最終ページの39、40ページはアンケートのお願いとなっております。この環境レポートをご覧いただいた方から御意見を頂戴し、来年度以降の改善に役立てようとするものとなっております。

レポート素案の説明については、以上でございます。ありがとうございます。

○会長           ありがとうございます。ただいまの事務局からの説明につきまして、御質問はないでしょうか。マイクをお使いいただきますようお願いいたします。何か御質問はございませんでしょうか。はい、委員Gお願いします。

○委員G           15ページのエネルギー、エコドライブの推進。ここで4つ書いてあります。その下にエコドライブ推進コンソーシアム全国大会に参加、と書いてありますが、これは全国環境会議だったと思います。このエコドライブだけで全国大会を開いたというわけではなしに、もっとたくさんのテーマがあってその中にエコドライブが含まれていたということなので、この全国大会の題名をもう一回確認していただけないでしょうか。

○会長           これは、題名を確認していただくということでよろしいでしょうか。書くところはこの位置でよろしいでしょうか。事務局の方で確認よろしく願いいたします。

○事務局B       再度確認させていただきます。



○会長           私から伺ってよろしいでしょうか。2ページ、3ページのところに、2ページの1、報告書をご覧くださいにあたって、編集方針、その次に主な関連資料の一覧、入手方法と書いてありますね。この2ページ、3ページでその入手方法に当たるところはどこになるのでしょうか。

○事務局D       申し訳ありません。これは訂正漏れです。一番後ろの39ページ、アンケートのところにウェブサイトということでエコイストというものが載っていますが、これが当初2ページ、3ページに記載されておりました。構成上後ろに移動させたのですが、文言だけがここに残っているという形になっておりますので、ここは訂正を加えさせていただきます。この入手方法というのは、後ろになりますので、この文言を39ページのほうに差しかえさせていただきますと思います。

○会長           では2ページの入手方法は削除ですね。それが39ページに行くということでもよろしいでしょうか。

                  では何かほかにございませんか。御質問がなければ御意見を伺いたいのですが、この環境レポートの2012の素案につきまして、何か御意見はございませんでしょうか。はい委員Bお願いします。

○委員B           Bです。ちょっと確認ですが、資料のデータで4ページの温室効果ガスの排出量ということで、先ほど実績が21年ということで出ておりました。2年も実績が過ぎていて古いデータですけれども、21年度までしか出て来ないというのは、市全体となるとなかなか出にくいのですか、ちょっと確認です。

○会長           データが少し古いようですが、もう少し新しくできないかということにつきまして、いかがでしょうか。

○事務局B       事務局のBです。こちらのデータにつきましては、「ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン」に基づきましてデータの収集をしているとこ

るですが、国のほうで定められています市内全域の温室ガスデータの収集方法があります。非常に項目数も多いもので1年間のデータが確定してからの調査ということがございまして、1年遅れと言いますか、一昨年データという状況になっております。今年度につきましては、平成22年度のデータの収集をしております、その報告をさせていただきましますのが、来年のレポートになってしまうというところで、もう少し早い段階でのデータの収集が可能かということについて、さらに検討していきたいと考えております。

○会長           もちろん今年のことはすぐに反映できないと思うのですが、それにしてもこのデータが古いのではないかということですが、そういう事情があつて確認するまで遅れているということですか。よろしいですか。ほかにいかがでしょうか。

○委員 A           Aでございます。素人なのでよくわからないのですが、この間クリーンセンターへ行って見学をしました。明石のごみ処理の状況について詳しい説明を聞きいろいろ勉強させていただきました。このレポートは細部に渡ってかなり詳しくデータも出しておられるので、それ自身は非常にありがたいと思うのですが、最後のほうになつたらしんどくなって読む気がしません。最後の各部局の細かいのが何十項目ぐらいあるんですかね。関心のある部局の取り組みについて勉強して、それなりにいろいろ議論をして改善を図っていくということは、それはそれで必要だと思いますが、全体として骨太く、明石の環境がよくなっているのか、悪くなっているのか、現状維持なのかということがもう一つ釈然としません。私自身、理解できないと思ったというのが率直な感想です。職員の方が非常に努力されて、よく頑張って、資料収集もされ、最後にアンケートもつけているということは、よいことだと思います。このアンケートがまたいろいろな形で出て集約された結果がどうなるかということは、ある意味一つの楽しみでもあるわけですが、今年は何と言いましても、先ほどおっしゃったように節電問題が大変大きな問題になったのですが、それが全体として一体どうなのかという評価と言いますか、その辺の御意見を伺いたいと思うわけでございます。以上でございます。

○会長           ありがとうございます。この23ページから38ページに渡る事業評価表というのがすごく長くあるわけですが、非常にページ数を押さえている割には複雑過ぎて見る気がしないということですね。その割には市民の生活の現状が余りわからないというような御意見だと思います。ごみにつきましても8ページから9ページに非常にわかりやすくまとめていただいているのですが、明石市全体としていいのか、悪いのか、みたいなものがわかりにくいと、なかなかそれを表現するのは難しいと思いますが、いかがでしょうか。

○委員A           追加的に申し上げますと、クリーンセンターに寄せていただいたときに実に近代的な設備で粉末にできるものは粉末にする、再生できるものは再生する。とにかく、ごみとして捨てたものを再生して区分けしているという品物をずらっと見せていただいたのですが、立派なものです。よくこんな物を捨てるなという感じがしたんですけども、そういったこともありますし、そんなことも大いに称揚していただくのもいいことなんじゃないかなという感想を持ちましたので、つけ加えさせていただきたいと思います。

○会長           ありがとうございます。逆に頑張っているということが、このレポートを通じて余り伝わってこないのも、そういうところがもう少し反映できればいいなということです。副会長、いかがでしょうか。

○副会長           今の御意見、もっともだと思うのですが、目次のところを見ていただいたらわかりますように、各事項が低炭素、循環型ということで全部これが並列に並んでいるんですね。ずっと並んでいるから、どこが特徴なのかもよくわからないし、よくわかることは書かれているからわかるのですが、2から6までが計画全体のことがあって、あとエコウイングあかしが7、そしてマネジメントシステムということになっていますので、昨年度のレポートも1から8までになっているのですが、ここをもう少し仕分けをしたらどうかなという気がいたします。

それともう1つは、まとめということで報告書をご覧いただくにあたって、

その後今年度の特徴ということで1ページか半ページぐらいで、温暖化であるとか循環型社会、その辺をトピック的に今年やったということをも1枚ものでつけておくということが一つには必要になるのかなと思っております。

私の意見を申し上げてよろしいでしょうか。あと2ページのところですが、報告書をご覧いただくにあたってということで、一番冒頭のところに平成23年度の報告と24年度の予定を記載していますと書かれているのですが、その予定というのが23年度はこうであって、何をしなければならない、こういう必要があるというのが書かれているところもあるし、書かれていないところもあります。24年度の予定ということでPDCAの、このアクションのところをどこかにまとめて書くとかはできないのかなという気はいたします。例えば、4ページの温暖化のところですが、18.2%減少ということで、もう達成はしているということになるのですかね。それで家庭と業務分はかなり増えていますよね。あと産業・運輸とかが減っているということで、その産業の部分で減っているのは、これは減っているからいいというふうにするのか、もし24年度の予定とかを書くということであれば、産業政策との絡みでコメントする必要があるのかなという気がいたします。それはごみのところも一緒に、そういう問題があったということが報告の中ではあったかと思えます。

あと、長くなって申しわけないのですが、3のところの自然共生ですが、私も今回初めて部会にも出席させていただいたのですが、ここの部会でも魚の種類など途中報告なので数を出すのは問題があるのかもわかりませんが、どのような状況だったか、数とか種類がどれぐらいあったとか、ということも出ていますので、その並びから言うと温暖化に数値があって、この自然共生のところでは数値がなくて、ごみにあって、というふうな形になっていますので、少し数値を入れて補強をしていただけないかなというふうなことです。

あともう1点、23ページ以降ですが、目標が91%とか89.1%できたというのが20ページ、21ページにあります。ここに達成度ありますので表はもう割愛して、ここで◎や×がついたものがどんなものであったかということについてコメントを入れて、それを合わせて24年度の予定とかに絡めて書くか、何か工夫をしていただければという気がいたします。

私も初めてなもので、昨年度の報告書がここにありますが、昨年度と同じような形でいくというのであればそれで結構なので、ちょっと意見だけ申し上げたというところです。

○会長 詳しい御意見をありがとうございました。まず目次で低炭素社会や自然共生社会、循環型社会など同列に並んでいるので、もう少し構成を工夫できないかということです。このレポートを根底から変えることになるかもわからない非常に難しい問題で、今すぐお答えすることはできないかと思うのですが、それも検討してみたらどうかということですね。

それと、今年度の特徴みたいなトピックを入れられないかということですが、それは先ほどの委員Aの御意見と共通しますね。何か記憶にあるような最近のことが書かれていないので、まず開いたときに最近の記憶として、ああこういうことがあったなということ、特に力を入れて取り組んだようなことを入れてはどうかということがありますね。

それと、2ページの冒頭の書き出しのところで23年度の報告及び24年度の予定を掲載していますとなっていますが、先ほどの委員Bの御意見も総合的に考えると、実際に低炭素社会のところは21年度の報告になっていますし、必ずしも23年度の報告ではないと、21年度のデータが出ているところもあるし、ここで23年度の報告と言ってしまうとちょっと問題があるのではないかと。23年度と限定してしまうと、内容が違うところがあるということと、副会長の御意見ですと、PDCAのAのアクションについてももう少し具体的な説明とかがいるのではないかということです。

○副会長 書いているところもあるし、書いていないところもある。どう書いたらいいのかはちょっとわかりませんが。

○会長 たくさんの意見をいただきましたので、その点について、市としての考えはいかがでしょうか。ちょっと難しいですが。

○事務局B 1つは24年1月に第2次明石市環境基本計画を策定したため、今年度の

環境レポートの構成を見直しさせていただきました。この計画の中で、「ストップ温暖化！低炭素社会のまちあかしプラン」、「生物多様性あかし戦略」、「みんなで作る循環型のまち・あかしプラン」という3つの個別計画を、環境基本計画の下に位置する3本柱の計画として整理させていただきましたので、このレポートでも低炭素社会と生物多様性と循環型社会の3つを併記させていただいています。今御指摘をいただきましたように、環境基本計画の3本柱という表現が抜けておりますので、個別計画を併記しているという形になっています。

それと、23年度の報告及び24年度の予定ということで2ページに書かせていただいておりますが、基本的には23年度にどのような活動を市はしてきたかという内容を中心にまとめさせていただいております。御指摘がございましたように、地球温暖化対策の部分につきましては、データ収集がちょっと間に合っておりませんので、少し前の年度になってはいますが、そのほかの数値的なものにつきましては、基本的に23年度のデータを入れているところですので。24年度の予定部分につきましては、確かに御指摘にありましたように一部触れていたり、触れていなかったりというところがございますので、その記載方法については検討する必要があるかと考えております。

○会長           23年度報告というところは、23年度を中心とした報告ということで内容は整合するのではないかと思うので、そういうふうにはどうかと。今の副会長からの御意見、事務局からのお答えでも基本計画に個別計画がぶら下がっているとすると、基本計画が先に行くという書き方になるのではないかと。それで基本計画の説明が、つまりこの目次で言うと13ページから17ページのところが先にあって、そのあとに個別計画のことが入ると骨組みがよくわかのではないかと思います。

それと、副会長の御意見はまだあって、6ページから7ページの自然共生のところですが、そこに数値的な表現がないので他の個別計画と同じように数値的なことを書けないのかということですが、それはいかがですか。

○事務局B       数値的なものは記入いたします。それとトピックスについては、何か考え

てみたいと思います。明石の環境に対してのポイントを記載するのはかなり難しい部分があるかと考えています。環境行政に携わっている者としてはよくなっているとは思いますが、やはり相対的な話として比較していくと、どこがよくなるか、どこを基準にするかというのが非常に困難なところがあります。そういう意味合いで言いますと、例えば明石では23年度は猛暑日がなかったなど、少しは書いているのですが、御指摘のようにトピックスのような形で表現できたらと思います。検討させていただくという回答でお願いいたします。

○会長           今ははっきり回答できないとは思いますが、つまり委員Aも副会長もおっしゃっているのは、生々しい情報がないので何かピタッと、こうだったなと思えるような昨年の記事があれば読みやすいということだと思いますので、御検討いただきたいと思います。

○事務局B       環境レポートということで客観的な表現方法に務めているところがございます。「多くの」などの表現は書かないで、事実というのを淡々と述べることに努めている面はありますけれども、先ほど御意見がありましたように生物多様性に関することなどは、数値を入れると皆さんもほかと比較しやすいと思いますので、数値をできる限り入れて実感していただくような形で考えてみたいと思います。

○会長           多分おっしゃっていることは、市民にこういうことに興味を持っていただいてこのレポートを読んでほしいということが根底にあるわけなので、もう少し市民感覚で読み進めてみたいというようなものがあればいいということだと思います。6ページ、7ページなどはきれいな絵が入っていて、非常に前向きな感じがあるのですが、市の立場としては客観的なデータで固めたものを情報提供したいという思いがあると思うのですが、読む側とすれば「もう少し」という希望ですね。

それと、副会長からの御意見は23ページからの表は、市民はあまり関心がないので、これだけのページを割く必要はあるのかということですね。

○の数とか、×とか△のところに関して、これはよくできたけどできていないのはなぜなのか、というコメントでまとめたほうがいいのではないかなということです。

○副会長        それだけでいいと思います、半ページぐらいで。

○会長         はい、委員 I。

○委員 I        I でございます。今の会長、副会長、委員 A が言われた 2 3 ページ以降ですが、ある程度フォーマット化した状態でデータを取る感じで、例えば特筆事項で、うちは特別こういうことは優れていたというようなことを加えてもらうような形にすると、使い勝手がよくなるのではないかと思います。意見です。

○会長         だらだらと並べるのではなくて、何か集約したようなことを書いたほうが、市民にとっては読みやすいということですね。

○委員 A        大体起承転結と申しますか、基本計画があって、こういう取り組みをやって、こういう結果が出ましたと、従って問題点はここここにあって、今後の取り組みはこういう方向でいきたいと思っています。ざくっとした言い方で恐縮ですけども、これだけの資料をつくるのはものすごく苦勞されたと思います。そのことは、私は非常に多とするのですが、会長が言われたように、これをこのまま一般の市民の方に見てくれと言って出したら、どこまで突っ込んでいくかなという感じを持ったので申し上げた次第です。

もう 1 つ、6 ページのため池の環境保全のところにもシシピアカミミガメの話が出てきますね。私は知らなくてびっくりしました。しかも全域に渡ってであると、非常に貴重なものを食いつぶしていくと、生態系に非常に大きな影響を及ぼすというような記述があるのですが、今後どういうふう to 捕獲して処理していくかということを鮮明に出していただければありがたいかなという感じがしています。以上です。



○会長           ありがとうございます。つまり市民の目から見て、えっと思うことがさらっと書かれていて、通り過ぎるみたいな感じがあるので、そういうトピックとか強調したいところを少し前に出せばいいのではないかという御意見です。

そして副会長の御意見も24年度の予定の書き方をもう少し工夫すればいいのではないかということでしたので、これ今すぐこうします、ということとはなかなか難しいと思いますので、その出し方を工夫いただきたいと、時間もありませんが、もし可能であればその辺を工夫いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員B           今の話に関連して、ぱっと開けたときに先に総括が書いてあると、今言われたようにこれは市民にかかわる部分がよくできていないというところがすごく多いですから、アカミミガメの話も出ましたけど、市民がかわいいときは飼っていても、すぐに捨ててしまう、というのも市民に関係しているのではないかなということです。ここまでまとめたものを全部直すのは非常に大変です。例えばA4用紙1枚ぐらいに副会長も言われたように、全体の中でこの部分は特にこういう数値は出ているよと、こういうところはすごく課題ですよと、特に市民に向けてのメッセージみたいなものをまとめたらどうかと。そうすると気になる人は細かいデータは出ているので、後で見える形になるのではないかなと思います。

○会長           そうですね、そうすればあんまり中身を触らなくても市民に対してのメッセージはありますね。そういうふうな工夫であればやりやすくなるのではないかという御意見です。委員F。

○委員F           先ほど言われたように、昨年度はみんな頑張ってきたから、こういうことはこうなりましたよ、と。今後はこの取り組みが弱いので、協力をお願いしますというようなことを市民に発信すればいいのかなと思います。最初に関連資料、報告書をご覧いただくにあたって、と書いてありますが、これを読んでも市民にご覧いただく内容は余り書かれてないように思います。そして最初に主な関連資料、と書いていますので、いきなり関連資料を読んで

ください、というようなことを言われているのかなと思いますので、関連資料を読んでくださいと言うことだったらこれでいいんですけど、先にこのレポートを読んでもらいたいのがあったら関連資料は後でいいのかなと思いました。今言われていたところをご覧いただくに当たって、で総括に書いたら後の修正も少ないのかなと思います。

それともう1点はアンケートですけど、ご覧いただくに当たってということで、アンケートに書いていただいた意見で皆さんとの相互のコミュニケーションを図りたいと書いてありますが、市民の立場で言いますと、アンケートでは関心があったことと、文章の構成の話が書いてあるのと、あと自由な意見しかありませんので、これを見た人が果たして意見を書いてくれるのかなど。ですからもう少し見開き1枚でもいいですから、市民の意見が出るようなアンケートにしたほうが、後々の活用もできるのかなと思いました。以上です。

○会長           ありがとうございます。確かにおっしゃるように、2ページの「報告書をご覧いただくにあたって」というところの感じが非常に冷たいですね。行政の立場だけの目線になっていきますね。相手を想定していない書き方と言うか、市民にぜひ読んでくださいという書き方になっていない、すごく事務的なので、A4用紙1枚でもいいので、こういうところを頑張りましたとか、こういうところが問題なんですというものとともに写真なども入れて、もう少し市民を目線に入れた書き方であればいいということですね。

それと、アンケートももう少し答えが返ってくるような質問にしたほうがいいということですね。

○委員F           何も書かなかつたら、何に興味があるかしかわからないわけですね。あとは文章の構成上の話ですから見やすいとか、見やすすくないかと言うのは別に市民から取らなくてもいいのかなと、もう少しそういった活動に参加したとか、参加したいとかにしたほうが、後々の環境の施策に反映できるのではないかなと思います。

- 副会長 去年は返ってきたのですか。
- 会長 アンケートが返ってきた件数ですか。
- 副会長 20か10ぐらい。ここに去年の報告書がありますが、項目がちょっと変わっていますが20か10ぐらいじゃないですか。
- 事務局D 20ぐらいですね。
- 副会長 20ぐらい、それはまとめてないのですね。
- 事務局D 今手元にはございませんが、その辺りの意見を反映させた形にレポートは構成しています。
- 事務局A アンケートについては、そういうような形で細かい選択肢をつけるのは一つの方法ですけれども、それについては各事業ではそういう方法も行ってあります。ここについては誘導的なことよりも、全体的な大きなくくりとしての意見をいただくような形を取っています。
- それと今お話いただいている件につきまして、確かにこの環境レポートの本質自体を左右する御意見をかなりいただいているように思います。今は法の規定する中での環境レポートということで、事業報告という形で環境部が行ってきた内容を報告したものをまとめさせていただいているのが今のこの環境レポートでございます。そのような形で私どものメッセージを入れていくとか、そういうことになると基本的な構成から考え直さないといけなくなります。新たな環境事業レポートという形で脱皮を図らないといけないことですので、しないというわけではないですけど、できましたら来年までの課題という形で、皆さんからの御意見を賜るということでお願いできたらと思います。
- 会長 写真を入れて空白を多くするなど、一応去年までの御意見に従って見やす

いものになっていることは確かですけど、副会長も他都市の状況をよく御存じで、他都市も市として実施したことを中心に事業報告みたいなものを出して、残り読者を意識しないことから脱皮を図ってトピックスなどを入れて市民との距離をできるだけ縮めようと取り組んでいるところが多いので、そういうイメージで多分おっしゃっていると思います。今までの御意見は共通して、何か手がなかなか届かないということに対していただいていますので、すぐにではなく来年のレポートの課題としてお聞きしておきたいと思います。可能であればA4用紙1枚ぐらいは何か入れていただけたらと思います。よろしく願いいたします。

○事務局A A4の部分については考えます。

○事務局B 後半の23ページ以降の部分ですが、環境マネジメントシステムに基づきました市の取り組み状況につきましても、実は昨年度のパブリックコメントで全部詳しく載せるべきだという御意見をいただいていますので、それに沿っている部分がございます。この部分につきましては、重点的なことだけ書く形でページを空けまして、その分をトピックスのほうにページを割いていきたいと思います。また、委員Fから御指摘いただきました資料の紹介については、後ろのほうに回して、まず頭に環境基本計画に基づくトピックスというものを持っていくよう修正をかけていきたいと思っております。

○会長 先ほどの御説明ですと、このアンケートそのものはこのレポートを見やすくするための何か意見をいただくという形になっていて、実際の個別計画などについてのアンケートはもっと市民の行動に関することになっているんですね。

○事務局B 後ほど、今後のスケジュールを御報告させていただきますが、こちらのレポートにつきましては、今回の審議会でご審議していただいた上でパブリックコメントをかけさせていただき、そちらで内容についての市民意見をいただくということです。その後公表した段階で、最終もう一度アンケート用紙

をつけまして、こういう完成品ですけどいかがでしたか、という形で御意見をいただくというように考えております。

○会長           ほかにいかがでしょうか。委員H。

○委員H           先ほどのお話を聞いていますと、今後の課題というところでいろいろあるかと思えます。このレポートの対象をどちらに設定されているかというところで市民という話だったのですが、こうして読み進めていく上で、先ほどの話の4ページのところでの排出量に関する御質問もあったと思えますが、例えば統計のデータが古いのではないかというお話であったり、産業部門は大幅に減っていますが、じゃあ何故減っているのかなど、ぱっと見て理由がわかる方は、ああ産業が停滞してるからだとかそういう想像がつくわけですが、そういう疑問が出てきたときにそれに答えるような文章がここには存在していないという、データをそのまま載せてあるとような形になっているところがあるのかなと思えます。ですから実際にあまり主観を入れずという話もありましたけど、分析の結果として明らかにわかっている部分は多少は補足をして行くほうが読み手からしてみればなぜというところが、解けていくんじゃないかなと思えます。

同じように20ページですけども、環境貢献エコ活動編の下の23年度の使用実績で施設の対象が広がったということが書かれておられますが、ここは22年度のデータは入っていないくて、23年度は入っているからということですが、例えば22年度の入ったデータというのはつくることはできないのでしょうか。実際にほかの施設も含めていったらどれぐらいになっていたのかというのがあったほうが、数字だけを見て誤解を招くということがないような気がします。それと同じような意味で今後また対象がふえる可能性があるのかどうか、そのあたりを少しお聞きしたいなと思ったところです。

○会長           ありがとうございます。まず4ページのところで温室効果ガスの辺は客観的に妥当だろうという解釈が書けるのなら、もう少し解釈を書いてはどうか

と。ただ、なかなか書きにくいところがありますよね。産業停滞とか書いてしまっているのかなというところはあるのですが、もし誰が考えても客観的にそうだろうと言えるようなところは、単に数値だけを書くのではなくて、ある程度読み手にヒントを与えるような解釈も書けばいいのではないかと、可能であればそれも御検討いただきたいということと、20ページのところですけれども、下の表ですが23年度は出先施設なども入れたから大幅に増えたということであれば、可能ならば22年度のほうも出先機関を入れたデータであれば比較しやすいということですが、データをつかむとなるとかなりの作業になりますし、その正確さをチェックしようと思うとかなりの作業になると思うのですが、いかがですか。

○事務局B 4ページにつきましては、こちらのほうでまず21年度のデータを記載しているという理由も含めて、もう少し説明の内容を追加していきたいと考えています。20ページにつきましては、この載せ方について事務局の中でも大分議論をいたしまして、非常に増えた数字になっておりますので、見ていただくのとびっくりされる数字になっていますが、あえて今回こういう形で載せまして、御意見をいただきたいと思っております。22年度までにつきましては、省エネ法に基づく調査と環境マネジメントシステムに基づく調査というのが、なかなか調査対象範囲というのがまだ確定していない部分がございます。まずそのベースをそろえる必要がある。調査の対象が確定しないことには経年の変化を確認できないと思っておりますので、23年度の実績についてまず市役所全施設、把握できる範囲で全ての施設を対象として取ろうということで、あえて対象範囲を増やして載せさせていただいています。ですから申し訳ありませんが、22年度の実績で言いますとつかみきれないというのが正直なところであります。今後につきましては、例えば学校園でありますとか、水道の施設でありますとか、別の調査で把握している部分がございます。まだ全てのデータの統合とまではいたっていないのが実情ですので、市役所に絡む施設の使用量について全て把握していった上で経年の変化を見ていくという方針で整理していきたいと考えているところです。

○会長 委員Hがおっしゃるように、例えば都市ガスなどでも莫大な数値の差がありますよね。こういうところが単純に誤解されるといけないので、確かになぜ違うのかという説明はありますが、そこをもう少し詳しく文章として表現するとか、表の欄外に説明を入れるなど、データをこれから抽出するのが無理であれば、もう少しこのところを誤解されない丁寧な書き方をすればいいのではないかと。それでいいですか、委員H。

それでは、何かほかにありますでしょうか。なければ次の自然環境部会の報告に行かせていただきたいですが。何か1番目の議題について言い足りない、例えば、このレポートの中にある用語が難しく、普通の人にはこれが理解できないみたいなものはありませんでしたでしょうか。そういうの結構ありますよね、自分だけわかっている書き方とか第三者には伝わらないというふうな難しい用語とか、そういう気になるところはなかったでしょうか。

○委員A かなり問題意識を持っている方でないと、ちょっと理解しがたいねという、そういう部分は一杯ありますからね。そこは今後の課題として大いに留意していただいて、記述していただければ非常にありがたいと思います。

○会長 本当に写真など入れて、レイアウトとか随分考えていただいて、今までの経緯をずっと見ますと改善されたと思います。それでもやっぱり市民に読んでいただきたいのであれば、また次年度以降でも市民に見やすいという点でまだ工夫が必要だということですね。はい、委員E。

○委員E 時間がないのに済みません、せっかくなので。今までで結果、具体的なものが足りないですとか、課題とか今後の予定とかがあったり、なかったりという話がありましたが、私が感じたのは最初に目標と言いますか、個別の環境保全計画に関するパンフレットとかに書かれているとは思いますが、まずこういった明石市全体で目指していく目標像があって、環境レポートがこういった位置づけでやっていく、といった前置きみたいなのが冒頭に欲しいなと思ったのが1点。

あと最後の細かい表ですね、これについては少し工夫すれば見やすくなる

と思います。例えば、一番端に課があつて政策室、政策室と並んでいますけど、これを1つにまとめればすっきりすると思いますし、あるいはこういった課、取り組み名称、というふうに並べるのはやめて、一番左側にテーマ、例えばエネルギーとかごみの関係とか自然環境に関するものとか、そういった項目を定めて区切っていくって最後に実施率みたいなものにしたほうが、私は個人的には見やすいと思いました。例えば、ガソリンのことが何回も出てくるわけですね。ガソリン削減とか、そういったものが複数の課が実施されているので、まとめる方向で整理したら非常に見やすいものになるかなと思いました。済みません、以上です。

○会長            ありがとうございます。後のほうの御意見では、23ページの表の作り方次第でもう少し親近感のある見方にできるのではないかとのことです。ね。課と取り組みの名称をまとめるとか、テーマとか項目を一番左側に持ってくるとか、もう少し集約した書き方であると見やすいのではないかと。表の構成そのものを変えれば見やすく、短くできるのではないかと御意見と、最初のほうの御意見ですと、A4で新しくまとめるとしても、明石市はこういうふうに向かっているというような目標があつて、今はこういうことを一生懸命やっている、のように最初の出だしがあればわかりやすいのではないかとのことです。ね。

○委員E           レポートの枠を超えるかもわかりませんが。

○会長            13ページに環境基本計画の目指す環境像というのがありますが、順序として後ろになっていますし、方向性みたいなものをまず市民の皆さんに印象づけて書き出したほうが前向きな印象を与えられるということがあるので、A4用紙1枚ぐらいを挿入していただくなど、そういうことも工夫していただくということよろしいでしょうか。方向性のわかるような文章を工夫していただくということで、ありがとうございます。

では、続きまして、次第2の第12回自然環境部会の報告について、事務局より説明をお願いいたします。



○事務局C 失礼いたします、事務局のCより明石市環境審議会自然環境部会第12回の報告をさせていただきます。

本日、委員の皆様のお手元に資料3の差し替え資料を配付させていただいておりますので、そちらをご覧くださいまして説明させていただきます。

自然環境部会は平成24年9月26日水曜日14時より、ここ明石生涯学習センターにて開催いたしました。出席者は自然部会員の方6名、副会長、事務局4名、昨年度の自然環境調査を担当いたしました日本ミクニヤ株式会社菊川氏の計12名でございました。

自然環境部会の議題ですが、平成23年度自然環境調査等の報告について。平成24年度自然環境調査等の実施について。「生物多様性あかし戦略」について、の3議題でございました。

まず、平成23年度自然環境調査等の報告についての報告では明石川及び兵庫県立明石公園生物生態系調査の報告を日本ミクニヤ株式会社菊川氏より報告いただきました。この調査は「生物多様性あかし戦略」推進のための調査5カ年計画の2年目として実施いたしました。報告の概要は資料3の1に記載しておりますとおりでございます。明石川の魚類と、明石公園の鳥類、魚類、哺乳類、両生類、爬虫類、植物類、昆虫類を調査しております。各種類の確認種等については記載のとおりでございます。

次に、平成23年度外来種生息域実態調査の報告を事務局よりさせていただきました。調査の概要は記載のとおりでございます。調査はNPO法人日本ウミガメ協議会が実施いたしております。調査の結果は、33カ所のため池で捕獲個体数が539、内訳といたしましてミシシippアカミミガメ374、クサガメ163、スッポン2でございました。調査の結果、市内のため池ではミシシippアカミミガメが非常に多く生息していることがわかりました。

次のページをご覧ください。平成24年度自然環境調査等の実施についてですが、今年度は明石川及び明石市内のため池群生物・生態系調査とミシシippアカミミガメ生息域実態調査を行っております。まず明石川及び明石市内のため池群生物・生態系調査の中間報告を事務局よりいたしました。この

調査は「生物多様性あかし戦略」推進のための調査5カ年計画の3年目として現在実施しております。中間報告の概要は記載しているとおりでございます。なお、ため池群の植物類と鳥類につきましては、この冬季の11月から12月にかけて2回目の調査を予定しております。

次にミシシippアカミミガメ生息域実態調査の中間報告を事務局よりいたしました。中間報告の概要は記載しているとおりでございます。中間報告の一番下に記載の捕獲個体数の推移をご覧くださいますとわかると思いますが、いずれの調査池をとりましても順調にアカミミガメが減っていることが伺えます。

次のページをご覧ください。「生物多様性あかし戦略」についてですが、こちらは「つなごう生きもののネットワーク 生物多様性あかし戦略」の各課の取り組み状況について、事務局より報告させていただきました。取り組み内容は記載のとおりでございます。「生物多様性あかし戦略」の基本方針に基づき、それぞれの地域での活動方針や活動計画について協議する場、生物多様性あかし戦略推進会議の設置を図っていきたいと考えております。

以上、簡単ではございますが、自然環境部会第12回の報告を終わらせていただきます。

○会長            ありがとうございました。自然環境部会の委員の皆様で何かつけ加えることなどございませんでしょうか。委員B。

○委員B           私も自然部会に入りましていろいろ話をしております。その中で最後のところに生物多様性あかし戦略推進会議というのがあり、物多様性あかし戦略ができたときにこういうものをつくって推進していこうということが決まりました。先ほどの環境レポートの中でも、なかなか数値が難しいという話がありましたけども実際に自然関係のことをいろいろやっけていまして、なかなか数値的なものを取りにくいのは事実です。しかし感覚的にはいろいろな貴重な生き物とか植物がどんどん減ってきているのではないかなというのを実感しております。その中でやはり早く推進会議というものを立ち上げて、専門家の方々の意見も聞きながら具体的に明石の中で何を優先的に、どこをど

うすればいいのかということを決めていく必要があるのではないかなと思います。今日は環境審議会の皆様にできれば具体的に、例えば本年度中ぐらいにこういうものをつくるよというところまで具体的な期限を設定していただけないかなというのが私の個人的な意見です。今日は自然部会長がいらっしゃいませんのでその話はできてはいないですが、皆さんの御意見をお聞きしたいなと思います。

○会長 生物多様性あかし戦略推進会議の設置につきまして、市としてはどのようにお考えなのでしょうか。

○事務局 B 生物多様性あかし戦略は今委員 B から御紹介いただきましたように平成 22 年度に策定しておりまして、その策定の時点では全国の市町村で 6 番目という早い段階で策定したところがございます。その中で戦略の推進を図っていくための推進会議ということで、生物多様性あかし戦略推進会議の設置を図っていくとうたっております。戦略の推進につきましては、計画ができてまして 2 年ほどたつのですが、まだなかなか進捗というのが十分にできていないというのが正直なところございまして、今回の自然環境部会で戦略の全ての項目につきまして、明石市のさまざまな部署での取り組み、あるいは市民団体の皆様の取り組み、県などその他の行政機関での取り組みを紹介させていただいて、進捗状況を管理をしていきたいと考えているところがございます。今、委員 B からの御指摘にございましたように、具体的なフィールドを決めて、その中でどのような活動方針や計画を立てて、市として取り組んでいけるかということについて、必要性を認識して取り組んで行こうというところまでは来ているのですが、具体的な場所の設定まではいたっていないというのが正直なところでございます。

○会長 委員 B は、設置についていつまでに、という御意見だったと思うのですが。それについて市のお考えはいかがでしょうか。

○事務局 A この生物多様性戦略は全国で 6 番目に策定したわけですが、その後の全国

の動向を見ていきますと、その当時は報告展とか開催されてかなりのものでしたが、どうも全国の浸透具合がなかなか思ったようには進んで行かないという現状もありまして、逆に先端を行っているだけに研究事例というものが非常に少なく事務局としてもかなり苦労しているのが現実でございます。と言いましても推進会議の設置をうたっているのも事実ですので、周りの市町でつくっているところも調査して、具体的な日時はこの場でお伝えするのは難しいと思いますが、スケジュールを組み立てて、また部会でも報告させていただければと思います。

○会長 委員Bの御懸念のいつまでにとというのは、そこまでは明確には言えないということですが、自然環境部会の皆さん、何かこのことについて。よろしいですか。委員Bから、このような明確な御意見をいただいたこともありまして、市でもそのことについて御検討いただくということでよろしいでしょうか。ほかに何か事務局の御説明で御意見はございませんでしょうか。

○副会長 意見ではなく尋ねてみたいのですが、私は自然環境部会に出席させていただいて何もわからないので聞いていたのですが、そのときに自然部会長が自然の爬虫類とか魚とか、その報告書がまだあるということで、その辺を探してみてもデータを集めたらどうかとおっしゃっていたと思いますが、その辺は探されたのでしょうか、それだけお伺いしたいと思います。

○事務局B 自然環境部会で部会長から明石市内の自然調査については多年度のデータがあるので、それを踏まえ切れていないのではないかと御指摘をいただきました。その調査の確認をもう一度いたしますと、平成20年度ぐらいから明石市が携わって主体で調査を行っている分だけでも相当なデータがございます。その集約と言いますか、データベース化というのは課題として考えております。まだその作業までは入れていませんが、課題として認識しておりますので取り組んでいきたいと考えております。

○会長 この明石の生物多様性あかし戦略というのは、全国でも非常に注目された

と言いますか手本になったんですよね。だからその進捗管理についてもリードしていただきたいというような期待があります。何かこれにつきましてほかに。はい、委員 I。

○委員 I 1点、外来種のみししっぴアカミミガメですが、調査の2回目で大分減っているというのは、単純に1回目に大量に捕獲したからということなのか、あるいは特別な対策をやって効果が出たということなのかというのが、素朴な疑問なのですが。

○会長 減った理由ですね。何か。

○事務局 C みししっぴアカミミガメの今年度の調査でしょうか。中間報告で、調査開始当初から確かにどの池もみししっぴアカミミガメが大量に捕獲されまして、それが日を追うごとに数が減っていているという調査報告が上がってきております。

○会長 今の御説明ですと、最初一気に捕獲したので減って、それからも捕獲しに行ったということですか。

○事務局 B 実際に捕獲方法につきましては、昨年度のみししっぴアカミミガメの実態調査ということで、かごを仕掛けてみました。その方法についても今年度改善改良していただいて、定点的にかごを仕掛けて、捕獲した亀の中からどれだけアカミミガメがいて、ほかのクサガメがいて、イシガメがいてというのをやっているのですが、調査していくごとにだんだんアカミミガメの比率が下がってきている状況です。ですから今はデータを蓄積している段階の途中でやり方は変えてはいないです。この結果を受けまして、どのような捕獲をすれば数を減らしていけるのか、何割ぐらいまで減らしていくことができるかということについて検討していきたいという段階です。

○会長 確かに、こういうふうに数値ばかり書いてあると、その数値の意味って

疑問に思いますよね。確かに今はまだ取集中なので結論ではないし、なかなか解釈を書けないというのはわかるのですが。

○事務局 A これにつきましては、まだ中間報告でございますので、この実態調査が終了しましたら委員の皆様には御報告させていただきたいと思っております。その中でグラフの表示とかいうのもしてまいります。それと部会のほうでも自然部会長から御指示いただいたのですが、全国的にやっているところがほとんどないと。

○会長 ないのですか、そうすると貴重ですよ。

○事務局 A 現実に手探りでやっていて、この部会でも御報告させていただきましたが、結局この亀を捕獲するには池の水を抜いたらどこかに行ってしい、また入れたらどこからか帰ってくるというので非常に扱いがしにくい亀でございます。そういうことで経年の調査をしていかないといけないところがございますので、どういう形で最終的にこのアカミミガメを対処していくかということはどうしてももう少しお時間をいただく必要があるのではないかと考えています。

○会長 ただ、前半の委員 A からいただいた御意見とか、先ほどの先生の御意見にしても、何かクエスチョンマークと言いますか、すごく関心があるのにと。先ほどの御説明ですと、この調査をしていること自体がすごくトピックスであるのなら、貴重なことをやっています、というそのものをどこかで表現していただいたらもっと市民の関心を引きつけられると思います。

○事務局 A ありがとうございます。トピックスを何にするべきかと考えていましたので、1つそれはつくってみたいと思います。

○委員 A 亀は神戸の水族園に持って行っているという話でしょう。水族園ではどうしているんですか、それを飼っているんですか。

○事務局 B 亀樂園と言いまして、亀の専門の施設で収容しております。実はこのミシシippアカミミガメの捕獲については、実際に川などでは、えさをあげている市民の方もいらっしゃるようです。そういう市民感情の部分もありまして、事務局としても、取り組みとして必要なことだというのは認識しているのですが、どこまで大々的に言っているのかというのを悩んでいる部分はございます。

○委員 A 確かに難しいところですね。

○会長 こういう明石市独特のことがあるのであれば、もっときっちり表現したらいいのにとお思いますね。何か知る人ぞ知るみたいな感じではなくて、きっちり書いていただいたら市民の方たちもそういう調査をやっているということ自体が誇りになるという感じですね。そう思いますので、このことも書いていただいたらなと思います。

○委員 A 神戸新聞にでも提供してアピールすればどうですか。

○会長 中間報告でデータの収集中であるとは言え、恐らくこの自然環境部会以外の皆様から見られて数値だけ並べられても何のことかわからないということもありますよね。それと、推進会議の設置を考えていらっしゃるのであれば、来年度以降の予定など、目標としてこの環境レポートに、万一予定どおりに行かないにしても、そういうことを計画しているのであれば、そのようなことを考えています、とこのレポートにも書いてはどうかと副会長から御意見がありました。つまり、このレポートがなかなか前向きな雰囲気伝わって来ないということですよ。

ほかに何かありますか。はい、委員 J。

○委員 J そのミシシippアカミミガメなんですけど、こんなに話題になっているのだったら、やっぱりアップの写真が必要ですね。

○会長            そうですね、私もそう思います。

○委員 J            だから、例えばこのレポートの6ページですね、オニバスの写真がしつこく出ていますが、この中の1枚を亀のアップの写真にするとか、本当に話題にしたいなら表紙にもそういう亀の写真も必要かなと思います。そういう取っつきがないとなかなか、市民女性としたら入り込んで行かないのです。

○会長            何かきっかけが必要ですよね。本当に今までの御説明を聞いていますと、ところでそのアカミミガメってどんなものって思いますよね。そういう写真を入れていただいたらいいのではないかと。多分それは単純にできることなので、このオニバスの写真を1枚、アカミミガメに変えていただくということを御検討いただきますようお願いいたします。

では、ほかによろしいでしょうか。今日は本当に貴重な御意見をいただいたと思います。大事だけど、どう表現したらいいのかわからないということを経験された委員の皆様から言葉として表現していただいたので、今年度はできないにしても来年度以降の改善のきっかけとなる貴重な御意見をいただいたと思います。

では、次第3のその他です。その他につきまして、事務局から御説明お願いいたします。

○事務局 B        その他の環境レポートの公表までのスケジュールについて、御説明させていただきますと思います。資料1のほうにお戻りいただきますでしょうか。

中ほどに図を表示しているのですが、環境レポートの公表につきましては、本日の御意見をいただきましたレポート案を元にしまして、パブリックコメントを予定しております。期間としては11月20日から12月14日を予定しています。今日、たくさん御意見をいただきましたので、特にトピックスの部分でありますとか、後半の環境マネジメントシステムのページの部分など、そちらの部分について特に反映していきたいと考えています。

パブリックコメントを実施いたしまして、今年中には環境レポートの取りまとめをさせていただき、先ほど御指摘がございましたようにレポートの記



載方法を変更いたしまして、完成品にアンケートの部分の載せ冊子の作成をしていきたいと考えております。以上です。

○会長

ありがとうございました。完成品にアンケートを載せて、それでまた伺うということになっているのだそうですけど、ただいまの事務局からの説明で何か御質問などございませんでしょうか。それと、全体を通しまして何か言い忘れていたということがございましたら、何か。よろしいでしょうか。

では、本日は貴重な御意見をいただきまして本当にありがとうございました。

ほかに何もないようでしたら、これで本審議会を閉会したいと思います。本日はどうもありがとうございました。

16時36分 閉会